



令和6年 うるま市塩屋敬老会において
三線演奏するエマヌエルさん



リヴィア・ケルンさん
ダンス教師・振付師



レモ・シュルupp
映像作家、アーティスト

私たちはスイス・バーゼルのアトリエ・モンディアル財団の支援を受けて、沖縄の文化・芸能をさまざまな角度から取材しドキュメンタリー動画をつくるために沖縄へやってきました。

- ・日常や祭りの舞踊、儀式舞踊、舞台舞踊、現代舞踊
- ・祭りや儀式舞踊の振付と起源
- ・文化にとって重要なその他の運動形態、武術、精神修養、農業など。

三線寄贈者

2014年 ドイツ

うるま市 上江洲安吉 大城盛助 伊覇 健 玉榮登次 道芝会・仲与
根清一 上原顕蔵 親田憲一 大嶺良子 西原町 高江洲尚子 山内た
けし 糸満市 潮平浩佑 久米島町 島袋直 千葉県 斎藤義二

2015年 フィリピン

うるま市 道芝会・田原真孝 湖城恵光 又吉章盛 那覇市 喜屋武光
子 仲栄真盛吉 喜屋武徳清 北中城村 伊佐盛仁 宜野湾市 崎山
真 千葉県 宇良宗英

2016年 第6回世界ウチナーンチュ大会

2017年 ペルー

うるま市 栄野川盛正 德里盛一 蔵本 新 安慶名澄枝 又吉章盛
読谷村 島袋千代子 那覇市 徳元英隆 諸見里安邦 宮城保 上原正
男 平良英光 沖縄市 島袋達男 池原次治 宜野湾市 玉木正邦 照
屋守栄 北谷町 北條真 金武町 糸洩 隆

2018年 ポリビア

那覇市 安慶田由美子 徳嶺盛勝 白濱智子 嘉数 勝 宜野湾市 玉
代勢勝次 恩納村 外間次郎 金武町 仲田徳一 北谷町 澤岷綾子
當間嗣剛 沖縄市 池原次治 島袋達男 棚原三郎 呉屋満雄 国吉と
み子 うるま市 玉元善栄 豊見城市 上地徳男 神戸市 柴田真理子

2019年 ハワイ

うるま市 又吉章盛 長田繁子 与那原湊 伊礼 正 浦添市 上地清
子 沖縄市 池原次治 那覇市 宮良 實 山里政一 知念和子 鹿児
島県 谷口豊美 豊見城市 渡久地正博 糸満市 稲嶺盛順

2020フランス

浦添市 上地清子 豊見城市 垣花義孝 津森義弘 和田幸子 本部町
上原良光 那覇市 福村幸子 沖縄市 池原次治 国吉全輝 仲程綾
子 うるま市 德里盛一 渡慶次 淳 名護市 宮里健一郎 宜野湾市
与古田政子 玉城勝秀 糸満市 潮平浩佑 東京都 坂木浩子 西原町
新城加代子 新垣 元

2021年 第7回「世界ウチナーンチュ大会」

2022年 カナダ

浦添市 石新一幸 平安治美 櫛山夢子 田面山米子 宜野湾市 喜納
徳次 沖縄市 島袋芳江 池原次治 うるま市 島克己 前堂久美子
勝連光子 那覇市 稲福ちあき 松田スミ子 西原町 砂川ひづる 北
谷町 佐久真潤子 南風原町 識名盛保 南城市 大城盛利

2023年 スイス・トルコ

首里 大城正子 那覇市 神谷睦子 うるま市 喜久山一雄 那覇 宮
城仁希

2024年 フランス・パリ沖縄祭り

金武町 小橋川健 那覇市 友利孝子、當間恵子 豊見城市 垣花義孝
うるま市 具志川市老人会クラブ

三 線 物 語

琉球音楽を世界へ発信した男

— 琉球音楽の使命は平和なり —

昭和25年、山内盛彬はお茶の水YMCAホールで琉球音楽発表会において、声楽家のフランセス・カッサード女史に、五線譜で伊波節を歌ってもらい、琉球音楽の五線譜化を実証した。翌年、南カリフォルニア大学から琉球音楽紹介の依頼を受けて渡米。五線譜による琉球音楽演奏は、「琉球音楽を耳にしたのは初めてだ」、「世界の音楽の中で一番面白くて、一番難しい」、「珍しい伴奏法だ」と、大反響を呼んだ。盛彬は、その足で南米や北米、アフリカ、インドネシア諸国を三年半かけて回り、その国々での三線演奏はどこも大好評であった。ニューヨークでは、音楽学者のカルツ・ザックス博士から琉球の国歌を所望されて「かぎやで風節」を歌い、祖先の伝統をかがやせてくれたと在米沖縄県人子弟は涙した。またアルゼンチンではペロン大統領に三線を贈り、在沖縄県人に琉球音楽に対する誇りを持たせてやることができた。国々で琉球音楽を演奏する中、各国の民俗旋法をくまなく調査をしてまとめ、「西洋はあれほど広い土地を持ちながら民俗旋法は二つだけ、中国はあんなに偉そうなのにわずか一つ。日本は四つ。ところがわが琉球には、世界全部の六つの旋法が集まっている」と発表した。

75年前に、盛彬師が蒔いた種は「世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」の団体へ引き継がれ蕾の花が咲く頃になった。

三線を救った男たち

— カンカラー三線の誕生 —

三線と空手は、生まれも育ちもよく似ている。中国に生まれ、沖縄で姿かたちを変えて成長し、全国、海外へと巣立っていく。また各流派が生まれ群雄割拠し乱立することや時代に奔流されるところも全く同じだ。

終戦、ウチナーンチュの心のよりどころである三線のほとんどが焼失し散逸した。時は石川民間人収容所、カンカラー三線を爪弾くその音色に人々は涙した。そこらにある木材を棹にして、これに空き缶を取り付け、針金を張ったカンカラー三線は、あっという間に十二ある収容所に広まっていった。やがて収容所から解放された民衆は「軍作業」や「戦果アギヤー」に群れて、次第に生きる気力を取り戻した。若き日の唄者セー小（登川誠仁）が「戦果アギヤー」に躍動する時代になる。米軍基地からパラシュートを調達して三線作りの名人、又吉真栄に頼み落下傘絹張り三線が誕生し一時流行になる。三線の本皮は保管の状態が悪いと破ける欠点がある。独自の技法を編み出し、破けない三線を作ったのが令和4年、現代の名工（三線工初）に認定された又吉章盛である。卓越した匠の技を十月のバリ・沖縄祭りで披露する。信条とする「三線は音が命」を追求し進化発展させる機会を得た。

勝連盛豊

協 力

(一社) 世界若者ウチナーンチュ連合会

沖縄欧州文化連合会

沖縄ふたふあ音楽協会

英光三線店

三線工房いーぼる

又吉章盛三味線店

上地民謡愛好会 結

潮平三線工房美ら音

琉球音楽協会

合同会社禮之会

沖縄ポリビア協会

沖縄ハワイ協会

沖縄カナダ協会

(有) 沖縄文化社

千葉沖縄県人会

儀保弘琉球国民謡研究所

沖縄タイムス社

琉球新報社

ぬちまーす

琉球放送

又吉章盛古典音楽研究所

兄弟へ三線を贈るプロジェクト編集委員

代表 勝連盛豊

委員

具志堅興市	東原清信
玉榮政昭	親田政利
野島大源	宮城仁希
下謝名正孝	

特別協力

松田 茂
又吉章盛
山城艶子

事務局 勝連盛豊

電話：090-9785-2207

メール：sei housan@ymail.ne.jp





2024年度おきぎんふるさと振興基金助成による

現代の名工（三線工）又吉章盛製作
琉球王朝時代から伝わる三線7つの型



フランス国立音楽楽器博物館三線奉納運動



フランス国立音楽楽器博物館三線奉納推進委員会